

同時発表：内閣府、農林水産省

令和5年6月23日
都市局公園緑地・景観課

令和5年（第17回）みどりの学術賞受賞記念イベントを開催します

「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に対し内閣総理大臣から授与される「みどりの学術賞」の第17回受賞者である津村義彦氏、倉田のり氏によるトークイベントを開催しますので、是非お越しくください。

内閣府は、日本科学未来館との共催により、みどりの学術賞受賞記念イベントを開催します。
「みどりの学術賞」は、植物、森林、緑地、造園、自然保護等に関する研究や技術開発など、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するものです。
今回は、第17回みどりの学術賞受賞者である津村義彦氏、倉田のり氏をお迎えしてトークイベントを開催します。

【催事名】

令和5年（第17回）みどりの学術賞受賞記念イベント
「植物博士と一緒に歴史さんぽ～DNAからわかる植物の歩み～」

【日時】

令和5年7月29日（土）13:30～15:30

【場所】

日本科学未来館

【主催】

内閣府、日本科学未来館
※みどりの学術賞及びみどりの式典に関する事務については、内閣府が、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省等関係省庁の協力を得て行っています。

【内容】

津村義彦氏、倉田のり氏によるトークイベント

【その他】

事前登録制・先着順・無料
日本科学未来館 HP (<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202307293016.html>) より申し込み（定員30名、席に余裕があれば、当日受付有り）

<本件問い合わせ先>

内閣府大臣官房総務課みどりの学術賞及び式典担当室
担当：藤原、竹内（林野庁 森林利用課）
野村、後藤（国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室）
電話：03-3502-8243（藤原、竹内）／03-5253-8420（野村、後藤）

令和5年（第17回）みどりの学術賞受賞記念イベント

植物博士と一緒に歴史さんぽ ～DNAからわかる植物の歩み～

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等にかかる研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与する賞です。このたび、令和5年みどりの学術賞を受賞された倉田のり氏、津村義彦氏のトークイベントを開催します。受賞者の方々のお話を聞きながら、「みどり」の面白さ・大切さに触れる貴重な機会となりますので、ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

日時：令和5年7月29日（土）13：30～15：30**第一部 13：30～14：15****日本の多様な気候に適応してきた樹木たち
～スギやブナの遺伝的地域性～****津村義彦氏**（筑波大学生命環境系教授/山岳科学センター長）

日本各地に生育する樹木は、同じ種のなかでも地域によって葉の形が異なるなど、様々な違いが見られます。なぜでしょうか？スギやブナをはじめ、多くの樹種の遺伝情報からその謎を解き明かしてきた津村博士と一緒に、森林の歴史を紐解いていきましょう。博士が様々な森林で行ってきたフィールドワークの魅力も満載です！

ファシリテーション：日本科学未来館みどりの科学コミュニケーター 上田 羊介 氏

第二部 14：20～15：05**ゲノムに刻まれた進化の歴史
～イネの栽培化の起源～****倉田のり氏**（国立遺伝学研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授）

ジャポニカ米やインディカ米など、お米にはいろいろな種類がありますが、その起源はたった1種の野生イネです。イネのゲノムを長らく研究されてきた倉田博士と一緒に、実際にイネを観察しながら、お米の数千年の進化の歴史に迫ります。ゲノムを通して植物を見るおもしろさを体感してみませんか？

ファシリテーション：日本科学未来館みどりの科学コミュニケーター 青木 皓子 氏

第三部 15：10～15：30**植物座談会**

研究者は、普段どんなことを考えながら植物を見ているのでしょうか。津村博士・倉田博士と科学コミュニケーターによるざっくばらんな座談会を行います。ぜひご参加ください！

開催場所：日本科学未来館 3階 ハブスペース

【お申し込み方法】日本科学未来館 HP より、事前登録を行ってください（席に余裕の場合当日受付）
イベントページ：<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202307293016.html>

【主催】内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）、日本科学未来館

【お問い合わせ】内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室（林野庁森林利用課内）
電話：03（3502）8243 （担当：藤原、竹内）



第17回みどりの学術賞受賞者 功績概要

津村 義彦(つむら よしひこ) 筑波大学生命環境系教授/山岳科学センター長

「森林樹木の遺伝的地域性の解明と森林の遺伝的保全管理への展開」に関する功績



我が国の主要樹種について、分子集団遺伝学的手法を用いて遺伝的地域性を解析し、遺伝的多様性が東日本は相対的に低く、西日本は相対的に高いことなど、我が国の森林の成立過程や森林樹木の遺伝的地域性を明らかにした。また、熱帯材から DNA を抽出し樹種識別する技術開発を主導するとともに、集団遺伝学的分析によって産地識別できる樹種も明らかにした。さらに、国際林業研究機関連合のコーディネータや森林遺伝育種学会長を務め、国内外の森林生態系保全に向けた研究の進展に尽力した。これらの成果により、森林資源の持続的な利用のためには森林の遺伝的な保全管理が重要であることを提言し、種苗移動に関する遺伝的ガイドラインの社会実装にも取り組み、国内外の森林の保全に大きく貢献した。

倉田 のり(くらた のり) 国立遺伝学研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授

「イネのゲノム情報基盤の確立と生殖・多様性研究」に関する功績



国際連携によるイネゲノムプロジェクト研究に参画し、イネの遺伝地図作成等ゲノム解読に大きく貢献するとともに、ゲノム情報が整ったイネを用いて、生殖器官発生や生殖隔離で働く遺伝子の機能を解明した。また、世界各地から収集した栽培イネと野生イネのゲノム解析により、イネの栽培化の起源地や、その起源地の野生種から現在日本で栽培されているジャポニカ種が生まれたことを突き止めた。さらに、熱帯や亜熱帯地方で収集された野生イネ 21 種にわたる約 1700 系統の整備及び分譲体制を確立し、それらの多様性と進化研究を進め、イネの多様な品種改良の研究基盤構築にも精力的に尽力するなど植物研究者のコミュニティの発展に寄与した。これらの成果により、食糧の安定的な生産につながる植物科学や植物遺伝学の発展に大きく貢献した。

みどりの科学コミュニケーターがわかりやすくお伝えします

内閣府(みどりの学術賞及び式典担当室)では、日本科学未来館の科学コミュニケーターを、みどりに関する科学的な知見を分かりやすく伝える「みどりの科学コミュニケーター」に任命しています。各種イベントや「科学コミュニケーターブログ」などで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。

津村博士のご紹介ブログ

<https://blog.miraikan.jst.go.jp/articles/20230605post-499.html>

倉田博士のご紹介ブログ

(近日公開予定)



青木皓子さん

上田羊介さん